

1ねん なつやすみのくらし

いよいよあしたから たのしみにしていた なつやすみが はじまります。ながいなつやすみを たのしくすごすために、なつやすみのくらしを しっかりよんで きまりをまもりましょう。

1 せいかつのめあて

- ①せいかつりずむを くずさないように、まいにちの「はやね、はやおき、あさごはん」をつづけましょう。
- ②おかねやげえむのやりとり、こうかんは ぜったいにしません。
- ③ようじがないときには、あさ 10 じまでは おうちですごしましょう。ゆうがたは 6じまでに かえります。
- ④ひるごはんは ともだちのいえでは たべません。おとながいない いえには はいりません。
- ⑤ともだちのいえには とまりません。
- ⑥ちいきのひとにあったら げんきよく きもちのよいあいさつをしましょう。



2 あんぜんのめあて

- ①じてんしゃは きまりをまもって のりましょう。(へるめつとをかぶる、「とまと」をまもる)
- ②かわ、こうじげんば など あぶないばしょでは あそびません。
- ③ひあそび、いしなげなど あぶないあそびは しません。
- ④はなびは かならず おとなのひとと いっしょにしましょう。
- ⑤こどもだけで うみや かわに いきません。あそびません。
- ⑥しらないひとに ついていきません。



3 けんこうのめあて

- ①そとで げんきに あそびましょう。みずも しっかり のみましょう。
- ②ねच्छゅうしょうに ならないように、そとでなにかするときは ぼうしをかぶりましょう。
- ③なつやすみのあいだに おしば、め、みみ、はなのちりょうを しましょう。
- ④てあらい、うがい、かんきにきをつけて、ころなういるすに かからないようにしましょう。



4 がくしゅうのめあて

- ①1がっきに がくしゅうした ひらがな、たしざん、ひきざんを なつやすみに もう1かい やりましょう。
- ②しゅくだいは はやめにして、2がっきのしぎょうしきに ぜんぶそろえて だします。

<なつやすみの しゅくだい>

- ☐ なつやすみの かんせい (こたえは がくしゅうかいで くばります)
- ☐ えにっき (3まい)
- ☐ おんどく
- ☐ さくひんぼしゅう・じゅうけんきゅう → やってみたいひとは とりくみましょう。
- ☐ うんどう、おてつだい、あさがおの かんさつ (みずやりを しましょう)

5 2がっきの しぎょうしき 9がつ1にち(もく) いつもどおりです。きゅうしょくあり。

<もってくるもの> しゅくだい、えぷろん、しゅうず、はみがきせつと、ぞうきん (なまえをかく)、ふでばこ、けんこうかあど、けんこうかれんだあ、ちりょうかあど、はさみ、のり、くうびい、がくしゅうのじゅんぴ

<じかんわり> ①がっかつ ②ぎょうじ(しぎょうしき) ③こくご ④さんすう ⑤がっかつ (ばす2:40)

【なつやすみに がっこうに くるひ】

☐ 8がつ25にち(もく) 10じ~11じ30ふん がくしゅうかい

すくうるばすは いつもの2じかんおくれで しゅっぱつします。とうこうはんではなく じぶんできます。

ちかくのひとが いるときは いっしょに きましょう。

※なにか あったときの れんらくさき:【田浦小学校 87-0015】【芦北町教育委員会 87-1171】